

LINE WORKS(ラインワークス)は、LINE の使いやすさを活かしつつ、商用利用に必要なセキュリティ、管理機能、ビジネス機能を強化したクラウド型ビジネスチャットツールです。医療・介護分野では、その手軽さと高いセキュリティ機能から、院内・施設内連携や地域連携の ICT ツールとして導入されています。

1. LINE WORKS の主な特徴

カテゴリ	特徴	詳細
ユーザーインターフェース	LINE と高い互換性	馴染み深い LINE と同じ操作感で利用でき、導入時の教育コストが低い。(普段 LINE を使わない職員向けに PC 版もあります)
セキュリティ	ビジネスレベルのセキュリティ	端末の紛失時のリモートデータ削除、通信経路の暗号化、監査ログ機能など、医療情報を扱うためのセキュリティ機能が充実しています。
管理機能	管理者による徹底管理	管理者が全メンバーのアカウントを一元管理でき、利用履歴(ログ)の確認やアクセス権限の設定が可能です。
連携機能	LINE ユーザーとの連携	外部の LINE ユーザー(例:患者さんのご家族)とトークルームで連携することが可能です。(ただし、医療情報のやり取りは推奨されません)
搭載機能	多機能なグループウェア	トーク(チャット)のほかに、掲示板、カレンダー、アドレス帳、アンケート、ファイル共有(Drive)機能などを標準搭載しています。

2. 医療・介護分野における具体的な活用例

① 迅速で確実な情報共有と指示出し

連携場面	活用方法	効果
訪問診療・看護	訪問先で患者の患部や褥瘡などの写真を撮影し、トークで医師に即座に共有。	電話よりも早く正確に状況が伝わり、迅速な治療方針の決定や指示出しが可能になります。
入退院連携	病院の地域連携室と在宅医、ケアマネがグループトークでつながり、退院予定やサマリーをファイルで共有。	FAX や電話の手間を削減し、情報連携のスピードが向上します。
シフト・安否確認	掲示板やトークで勤務表の共有、災害発生時の安否確認アンケートを即時に実施。	業務の「見える化」が進み、BCP(業務継続計画)対策としても活用できます。

② 業務効率化とペーパーレス化

業務	活用方法	効果
伝達事項	紙の「連絡ノート」や院内 FAX を廃止し、グループトークや掲示板に集約。	印刷代や用紙代を削減(ペーパーレス化)。情報が時系列で残り、検索も容易になります。
会議	ビデオ通話機能を利用し、離れた場所からでも担当者会議やリモートカンファレンスを実施。	移動時間や場所の制約がなくなり、多忙な多職種の参加が容易になります。
記録・メモ	訪問中の隙間時間にトークルームで音声入力を使い、記録のたたき台を作成。	事務所に戻ってからの記録作成時間を短縮し、残業時間の削減に貢献します。

3. 厚生労働省のガイドラインとの関係

MCS と同様に、LINE WORKS も「ビジネスチャットツール」として、医療情報システムの安全管理に関するガイドラインが要求するセキュリティ要件に対応できるように設計されています。

セキュリティ体制:

通信・保存データの暗号化を実施。

厳格なアクセス権限設定や、利用者ごとの利用ログ(監査ログ)を管理者が確認できる機能を提供

利用にあたっての注意点:

ツール自体がセキュリティ要件に対応していても、実際に機密性の高い医療情報を扱う際は、各医療機関が独自の「LINE WORKS 運用ガイドライン」を策定し、情報セキュリティポリシーを遵守した運用(例:患者個人名を伏せた表現での投稿など)を行うことが不可欠です。

LINE WORKS は、その使いやすさから、特に多忙な在宅医療・介護の現場で、迅速なコミュニケーションと情報共有を実現するツールとして注目されています。

「みさいやネット」は、宇和島市が運営する在宅医療・介護の多職種連携を支援する情報共有システムです。地域包括ケアの実現を目指し、医療と介護の関係者が患者情報を共有できるよう設計されています。

1. 在宅医療・介護多職種連携システム「みさいやネット」

「みさいやネット」は、在宅で生活する高齢者などを支えるために、医療・介護・福祉の多職種が施設や職種の垣根を越えて、患者・利用者に関する情報をフラットに共有し、コミュニケーションを取るための情報共有システムです。

◆ システムの仕組みと主な機能

みさいやネットは、ヘルスケア SNS(Net4U など)と呼ばれるシステムを基盤として導入されていることが多い、MCS(メディカルケアステーション)などと同様の機能を持っています。

機能	内容	特徴・目的
医療介護連携システム	患者・利用者ごとの専用のトークルーム(SNS)機能。	医師、訪問看護師、ケアマネジャー、ヘルパーなどが、日々の状態変化やケアの内容、指示をリアルタイムに共有し、連携を円滑にします。
救急搬送時参照機能	救急隊や救急外来が、登録された患者の同意済み医療・ケア情報を緊急時に参照できる機能。	迅速な処置・受入判断を支援し、人命救助に貢献します。
既存システム連携機能	既存の電子カルテや介護ソフトなどの連携機能。	二重入力を解消し、多職種がスムーズに情報を参照できるようにします。
災害時緊急データベース	災害発生時に地域内の介護事業所や福祉避難所の被災状況や安否情報を随時共有。	災害時の迅速な医療救護体制の構築に役立ちます。
地域資源マップ	宇和島市内の医療機関、介護事業所、介護予防に取り組む社会資源の検索機能。	サービス担当者が地域資源を把握し、適切なサービス調整を支援します。
空き情報閲覧機能	デイサービスやショートステイ、入所施設などの空き状況をリアルタイムに閲覧。	ケアマネジャーが地域連携室が、退院調整やサービス調整を効率的に行えます。

◆ 特徴

- ・ **費用負担がない:** 参加する医療・介護事業所側の費用負担がないため、地域全体での導入が進みやすい仕組みとなっています。
- ・ 「顔の見える連携」のサポート: 施設や職種を問わず情報共有とコミュニケーションを可能にすることで、地域包括ケアを支える「顔の見える関係」を構築することを目的としています。
- ・ **幅広い職種が参加:** 病院、診療所、訪問看護ステーション、薬局、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、救急外来など、多くの職種が参加しています。

2. 地域医療連携ネットワーク「きさいやネット」との関係

宇和島市では、「みさいやネット」と並行して、市立宇和島病院が中心となって運用する**「きさいやネット」**があります。

項目	きさいやネット	みさいやネット
主な目的	医療機関同士の診療情報共有	医療・介護・福祉の多職種連携と情報共有
共有される情報	市立宇和島病院の電子カルテ情報(医師の記録、処方、検査、画像データ等)	現場でのケア情報、患者の状況変化、連絡事項、地域資源情報等
参加者	主に南予地域の医師(病院・診療所)	医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー、薬局、行政など全多職種

宇和島市が目指す地域包括ケアシステムは、この「きさいやネット」による医療情報共有と、「みさいやネット」による在宅での多職種連携・ケア情報共有の二つのシステムが組み合わさって実現。

Copilot

「みさいやネット」は、宇和島市が運営する在宅医療・介護の多職種連携を支援する情報共有システムです。地域包括ケアの実現を目指し、医療と介護の関係者が患者情報をフラットに共有できるよう設計されています。

特徴と仕組み

- ・ **対象施設:** 病院、診療所、歯科診療所、訪問看護ステーション、薬局、介護事業所など。
- ・ **機能:** 患者の診療・ケア情報をリアルタイムで共有し、救急搬送時や災害時にも活用可能。
- ・ **目的:** 顔の見える連携を通じて、地域全体で患者を支える体制を構築。

利用状況と参加方法

- ・ **導入事業所数:** 令和6年10月時点で114の医療・介護事業所が参加。
- ・ **費用:** 無料で利用可能。
- ・ **参加方法:** 宇和島市地域包括支援センターへの連絡が必要(TEL: 0895-24-1111)。

プライバシーと安全性

- ・ **個人情報保護:** 各施設に管理責任者を配置し、厚生労働省のガイドラインに準拠。
- ・ **情報共有の停止:** 本人の同意撤回により、いつでも情報共有を中止可能。

このシステムは、宇和島市の高齢者福祉計画にも組み込まれており、PDCAサイクルに基づいて継続的な改善が図られています。

「みさいやネット」とは？

「みさいやネット」は、宇和島市が構築した地域包括ケア対応型の情報共有システムで、医療・介護の多職種が患者情報をリアルタイムで共有できるヘルスケア SNS です。

主な参加機関

- 病院・診療所・歯科診療所
- 訪問看護ステーション
- 薬局
- 介護事業所 など

目的と効果

- 顔の見える連携を実現し、患者中心のケアを推進。
- 救急搬送時や災害時にも迅速な情報参照が可能。
- 診療・ケア情報の共有により、重複や漏れのない支援体制を構築。

導入効果と事例

宇和島市では、スマートスピーカーを活用した高齢者見守り・オンライン診療の取り組みと連携し、「みさいやネット」が活用されています。

参加方法・問い合わせ

- 参加費用:無料
- 問い合わせ先:宇和島市地域包括支援センター
TEL:0895-24-1111
メール:hokatsu@city.uwajima.lg.jp[^4^]

「みさいやネット」の運用フローとセキュリティ体制についての整理です 

運用フロー

1. 利用申請と登録

- 各医療・介護事業所は、宇和島市地域包括支援センターに申請。
- 利用者登録申請書、端末接続申請書、誓約書などを提出。
- 医療機関・薬局・訪問看護など、職種ごとに様式が分かれている[^3^]。

2. 患者同意取得

- 利用前に患者本人または家族から同意書を取得。
- 同意撤回も可能で、撤回届を提出すれば情報共有は即時停止。

3. 情報共有と活用

- 登録された患者情報(診療記録、ケア内容など)を関係者間で共有。
- 救急搬送時や災害時にも、迅速な情報参照が可能。

4. 利用停止・削除

- 利用者や患者の希望により、登録情報の削除・休止が可能。
- 様式に基づいた申請書類を提出することで対応。

セキュリティ体制

1. ガイドライン準拠

- ・ 厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠。
- ・ 外部からの不正アクセスや情報漏洩を防止。

2. 管理責任者の配置

- ・ 各施設に管理責任者を置き、情報保護と運用管理を徹底。

3. セキュリティポリシー

- ・ 閲覧側にも専用のセキュリティポリシーが定められており、運用マニュアルに従って管理。
- ・ クライアント端末の要件も明記されており、セキュリティソフトや通信環境の整備が必要。

◆ 「みさいやネット」の導入支援の流れと申請様式の整理

◎ 導入支援の流れ(宇和島市)

1. 事前相談

- 宇和島市地域包括支援センターへ連絡(TEL: 0895-24-1111)。
- 導入目的や対象患者、連携先などを確認。

2. 申請書類の提出

- 利用者登録申請書、端末接続申請書、誓約書などを提出。
- 医療機関・薬局・訪問看護など、職種ごとに様式が分かれています。

3. 患者同意取得

- 同意説明書と同意書を患者または家族に提示。
- 同意撤回届も用意されており、いつでも情報共有を停止可能。

4. システム接続と運用開始

- クライアント端末のセキュリティ要件を満たす必要あり(例:HumanBridgeEHR)。
- 利用マニュアルに従って運用を開始。

□ 申請様式の主な一覧(医療機関用)

書類名	様式番号	備考
利用者登録申請書・端末接続申請書	A3	Word・PDF あり
利用医誓約書	A4	医師 1 名につき 1 枚
患者同意説明書・同意書	A6・A7	両面コピー推奨
同意撤回届	A8	患者希望で提出
登録患者削除申請書	A5	利用医用
利用停止・休止届	A10・A10-1	一時停止・完全停止に対応

※調剤薬局・訪問看護用は様式 B 系統になります。

◎ セキュリティ体制の補足

- ・ セキュリティポリシー(閲覧側用)が定められており、施設ごとに管理責任者を配置。
- ・ クライアント要件として、通信環境や端末のセキュリティ対策が必要。
- ・ 厚労省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠。

「みさいやネット」の申請様式のダウンロード先と記入例

申請様式のダウンロード先

宇和島市が提供する公式ページから、職種別に様式がダウンロードできます。

医療機関用(様式 A 系統)

- 利用者登録申請書・端末接続申請書(様式 A3)
- 利用医誓約書(様式 A4)
- 患者同意説明書・同意書(様式 A6・A7)
- 同意撤回届(様式 A8)
- 登録患者削除申請書(様式 A5)
- 利用停止・休止届(様式 A10・A10-1)

調剤薬局・訪問看護用(様式 B 系統)

- 利用者登録申請書・端末接続申請書(様式 B3)
- 利用者誓約書(様式 B4)
- 患者同意説明書・同意書(様式 B6・B7)
- 同意撤回届(様式 B8)
- 利用停止・休止届(様式 B11・B11-1)

👉 ダウンロードはこちらからどうぞ:[宇和島市公式ページ\(申請様式\)](#)

記入例と運用マニュアル

- 利用マニュアル(様式 A2・B2): 運用手順や記入方法が詳しく記載されています。
- セキュリティポリシー(閲覧側用): 施設内での情報管理ルールを明記。
- クライアント要件(HumanBridgeEHR): 端末のセキュリティ条件や推奨環境。



「みさいやネット」の申請書類の記入ポイントと提出時の注意点

記入のポイント

1. 利用者登録申請書(様式 A3・B3)

- 施設名・所在地・代表者名は正確に記入。
- 端末接続申請では、使用予定の端末情報(OS、セキュリティソフトなど)を記載。
- 医療機関の場合、利用医一覧届出書(様式 A3-1)も必要(複数医師が利用する場合)。

2. 利用医誓約書(様式 A4・B4)

- 医師 1 名につき 1 枚必要。
- 署名・捺印を忘れずに。電子署名は不可。

3. 患者同意書(様式 A6・A7・B6・B7)

- 両面コピーが推奨されています(説明書と同意書がセット)。
- 同意取得日は記入必須。家族代筆の場合は続柄も記載。

4. 同意撤回届(様式 A8・B8)

- 患者または家族の希望で提出可能。
- 撤回後も治療・ケアに不利益が生じないことを説明しておくと安心。

👉 提出時の注意点

- 提出先:宇和島市地域包括支援センター
TEL:0895-24-1111
メール:hokatsu@city.uwajima.lg.jp
- 提出方法:郵送または持参。FAX 不可。
- 提出前チェック:
 - 書類に漏れがないか(特に署名・捺印)
 - 様式番号が正しいか(職種ごとに異なる)
 - 利用マニュアル(様式 A2・B2)に沿って記入されているか



職員間の役割分担や患者説明の流れも整理しておくとスムーズですよ。
「みさいやネット」導入後のトラブル防止策

💡 トラブル防止策と運用上の注意点

1. 患者同意の徹底

- 情報共有は患者本人または家族の同意が必須。
- 同意説明書を用いて、目的・範囲・撤回方法を明確に伝える。
- 同意撤回届(様式 A8・B8)により、いつでも情報共有を停止可能[^{^2}]。

2. 管理責任者の配置

- 各施設に管理責任者を置き、情報の取り扱いを統括。
- 利用者の誓約書(様式 A4・B4)により、情報保護の責任を明文化。

3. セキュリティポリシーの遵守

- 閲覧側用のセキュリティポリシーを施設内で共有。
- 厚労省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠[^{^4}]。

4. クライアント端末の要件確認

- HumanBridgeEHR など、推奨環境に準じた端末を使用。
- セキュリティソフトの導入、通信環境の整備が必要。

5. 運用マニュアルの活用

- 利用マニュアル(様式 A2・B2)に沿って、職員間で運用ルールを統一。
- 閲覧施設での同意書運用方法も PDF で提供されており、実務に役立つ[^{^4}]。

✳ よくあるトラブルと予防策

トラブル例

同意取得漏れ

予防策

同意書の管理台帳を作成し、定期確認

情報の誤共有

閲覧権限を職種ごとに制限し、操作履歴を記録

端末トラブル

専用端末の定期メンテナンスとバックアップ体制

利用者間の連携不足

月例ミーティングやチャット機能で情報共有を促進

このような体制を整えることで、先生の診療所でも安心して「みさいやネット」を活用できます。もし、職員向けの研修資料やチェックリストが必要でしたら、そちらも一緒に作成できますよ 

チェックリスト的な活用ポイント

以下の項目を確認することで、導入準備や運用開始後のトラブルを防げます：

項目	内容
利用申請書類の提出	様式 A3・A4・A6・A7 などを正しく記入・提出
管理責任者の配置	情報管理を統括する担当者を施設内に設置
セキュリティ対策	HumanBridgeEHR の要件を満たす端末を準備
同意取得の記録	同意書の台帳管理と撤回対応の体制整備
職員研修の実施	利用マニュアルに基づいた操作研修を実施
情報共有のルール	閲覧権限や記録の取り扱いを明文化

このチェックリストをベースに、先生のクリニックでも導入準備を進められると思います。必要なら、職員向けの研修スライドや説明資料のひな型も一緒に作成できますよ 

職員研修スライドを作成することができます：

1. 導入の目的と背景
2. みさいやネットの機能とメリット
3. 申請・同意取得の流れ
4. 情報共有の実務手順
5. セキュリティと個人情報保護
6. トラブル対応と撤回手続き

スライド 1:導入の目的と背景

- 地域包括ケアの推進
- 宇和島市の医療・介護連携の課題
- みさいやネットの役割

スライド 2:みさいやネットの概要

- 対象職種と施設
- 情報共有の仕組み(リアルタイム連携)
- 利用状況と導入事業所数(令和 6 年 10 月時点:114 施設^[2])

スライド 3:導入手順と申請様式

- 利用者登録申請書(様式 A3)
- 利用医誓約書(様式 A4)
- 患者同意書(様式 A6・A7)
- 提出先と連絡先(宇和島市地域包括支援センター)

スライド 4:運用フロー

- 同意取得 → 登録 → 情報共有 → 撤回対応
- 多職種間の連携例(医師・薬剤師・訪問看護)

スライド 5:セキュリティ体制

- 管理責任者の配置
- セキュリティポリシーの遵守

- ・ クライアント端末要件(HumanBridgeEHR)

スライド 6:トラブル防止策

- ・ 同意取得漏れの防止
- ・ 情報誤共有の対策
- ・ 端末トラブル対応
- ・ 月例ミーティングの活用

スライド 7:質疑応答・導入支援窓口

- ・ よくある質問
- ・ 導入後のフォローアップ体制
- ・ 連絡先とサポート情報
- ・



みさいやネット導入研修スライド(文案ひな型)

スライド 1:はじめに

タイトル:みさいやネット導入研修 サブタイトル:地域包括ケアを支える情報共有のしくみ 講師名・日

付:〇〇クリニック／2025年〇月〇日

スライド 2:導入の背景

- ・ 宇和島市の高齢化と在宅医療ニーズの高まり
- ・ 多職種連携の課題(情報の断絶、連携の遅れ)
- ・ みさいやネットの誕生と目的

スライド 3:みさいやネットとは?

- ・ 宇和島市が運営する医療・介護連携システム
- ・ 対象:病院、診療所、薬局、訪問看護、介護事業所など
- ・ 情報共有:診療記録、ケア内容、連絡事項などをリアルタイムで共有

スライド 4:導入手順

- ・ 利用申請(様式 A3・A4)
- ・ 患者同意取得(様式 A6・A7)
- ・ 端末接続申請とセキュリティ確認
- ・ 宇和島市地域包括支援センターへの提出

スライド 5:運用フロー

1. 同意取得
2. 登録・接続
3. 情報共有開始
4. 必要に応じて撤回・削除

スライド 6:セキュリティ体制

- ・ 管理責任者の配置
- ・ セキュリティポリシーの遵守
- ・ HumanBridgeEHR の端末要件
- ・ 厚労省ガイドライン準拠

スライド 7:トラブル防止策

トラブル 対策

トラブル 対策

同意取得漏れ 台帳管理と定期確認

誤共有 閲覧権限の制限と操作履歴の記録

端末不具合 定期メンテナンスとバックアップ

連携不足 月例ミーティングとチャット活用

スライド 8:質疑応答と今後の流れ

- よくある質問(例:撤回時の対応、情報の範囲)
- 導入後のフォローワーク
- 連絡先:宇和島市地域包括支援センター(TEL: 0895-24-1111)

この文案をベースに、Canva や PowerPoint でスライド化すればすぐに職員研修に使えますよ。